

◇学 園 叢 報 (平成二年度)

◇図書館だより — その一 —

本学園図書館では、昭和五十七年より一人一冊献本運動を展開しております。お蔭様にて本年度も同窓の各聖・各位・有縁の皆様方の献本運動のご協力を賜わり、蔵書の数を増加させております。平素より仁心のご高配・ご厚志に対しまして、館員一同厚く御礼申し上げます。

平成二年度図書寄贈者ご芳名

- 1 浅草仏教会殿 「浅草仏教会創立五十周年記念誌」一冊
- 2 野中栄修殿 「日本の古典」十冊
- 3 渡辺まさ子殿 「萩苑草舎の主人」一冊
- 4 松本光華殿 「民話風法華経童話その9 早く本願を思い出せ」他六十二冊
- 5 霊友会殿 「霊友会史資料1—5」二冊
- 6 テレメディア殿 「考えてみませんか エネルギーと原子力」一冊
- 7 今村良江殿 「ふるさとやまなしの民話」一冊
- 8 日蓮宗新聞社殿 「ご遺文の心」他三冊
- 9 山梨ライトハウス殿 「愛盲作文集 白い杖 第2集」一冊
- 10 身延山久遠寺殿 「梵文法華経写本集成ローマ字本・索引 第2巻」他七冊
- 11 児島練戒殿 「親鸞教義の誤解と理解」他二十冊
- 12 日蓮宗宗務院殿 「日蓮宗宗報 第142号」他二冊
- 13 奈木盛雄殿 「富士市の仏教寺院」一冊
- 14 山梨英和短期大学付属図書館殿 「山梨英和短期大学蔵書目録」四冊
- 15 志村本光殿 「富士山のシダ」一冊
- 16 省エネルギーセンター殿 「地球環境と人間」一冊
- 17 河野トク殿 「キャロル」一冊
- 18 河原英介殿 「色彩の本」一冊
- 19 小川順道殿 「法名要句法華経撰句集」一冊
- 20 保坂俊司殿 「東方 第1—5号」五冊
- 21 日本電気商会殿 「原発 何が真実か」他一冊
- 22 製粉振興会殿 「小麦粉の話」一冊
- 23 三室戸学園殿 「三室戸学園創立50周年記念史」
- 24 山梨県立図書館殿 「山梨県立図書館所蔵郷土資料目録」他一冊
- 25 高橋八重子殿 「素肌美容法」一冊
- 26 山梨医科大学殿 「山梨医科大学開学十周年記念誌」一冊
- 27 山梨県立美術館殿 「山梨県立美術館蔵品総目録Ⅱ 一九八四—一九八八」一冊
- 28 専修大学殿 「専修大学110年」一冊

- 29 山梨大学殿 「大学をひらく」一冊
- 30 本妙寺殿 「本妙寺歴史資料調査報告書」一冊
- 31 山梨県殿 「山梨県統計年鑑」一冊
- 32 武庫川学院殿 「武庫川学院五十年誌」一冊
- 33 金沢文庫殿 「神奈川県立金沢文庫60年のあゆみ」他一冊
- 34 高杉 良殿 「祖国へ、熱き心を 上・下」二冊
- 35 庵谷行亨殿 「日蓮聖人教学の基礎」他一冊
- 36 河野もと殿 「珠玉」一冊
- 37 田中慈妙殿 「元政上人」一冊
- 38 (株)ナンバーワン殿 「'90-'91 輝く日本のNo.1」一冊
- 39 (社)社会経済国民会議殿 「原発論議総点検」一冊
- 40 交通遺児育英会殿 「交通遺児育英二十年史」他一冊
- 41 東洋経済新報社殿 「マネジメントと直観」一冊
- 42 村瀬章遠殿 「昭和定本 日蓮聖人遺文 第1―4巻」七
セット
- 43 仲沢浩祐殿 「インドの寓話」三冊
- 44 日蓮宗秋田県青年会殿 「日蓮宗秋田県寺院巡り」二冊
- 45 望月海淑殿 「法華経における信の研究序説」他五十四冊
- 46 岩間日勇宛下 「提唱碧巖集 全」他五冊
- 47 山田繁子殿 「リーダーズダイジェスト名著選集」他九冊
- 48 長坂町教育委員会殿 「長坂町誌 上・下」二冊
- 49 原 光司殿 「神道体系神社編18・19 古典注釈編1 他
六冊
- 50 インナートリップ青少年センター殿 「第12回 全国高校
生の主張」一冊
- 51 橋田文啓殿 「要法寺文書」一冊
- 52 電気事業連合会殿 「さんすい」一冊
- 53 浅草寺殿 「浅草寺仏教文化講座 第34集」二冊
- 54 成田山新勝寺殿 「仏教思想史論集 I・II」二冊
- 55 武庫川学院殿 「風濤こえて人の和固く」一冊
- 56 常円寺殿 「常円寺史」一冊
- 57 立正大学殿 「江戸町の風光」一冊
- 58 佐藤智雄殿 「日本の末法思想」他十三冊
- 59 三友雅夫殿 「STUDIES IN LEADERSHIP」他十二冊
- 60 谷川寛徳殿 「わが人生論 富山編(中)」他二百四十三
冊
- 61 日蓮宗布教院殿 「第43回 布教院々報」一冊
- 62 波多江輝子殿 「インド哲学の一断面」一冊
- 63 本門社殿 「宗門新報コピー全集 第一巻」一冊
- 64 昭和女子大学殿 「昭和女子大学七十年史」二冊
- 65 横浜市民局長殿 「図説 横浜の歴史」一冊
- 66 奥野本洋殿 「クリシユナ」一冊
- 67 山梨県林務部殿 「やまなし 森林 花 樹木」二冊
- 68 尚学社殿 「全訳 古語例解辞典」他二冊
- 69 財団法人統一団殿 「日什大正師の略歴及び主張」一冊
- 70 溝田弘利殿 「撫育草」三冊

- 71 沼 義昭殿「観音信仰研究」一冊
 72 北海道西部教化センター殿「日蓮宗管長狹下御親教北海道教区護法大会記念写真集」一冊
 73 鶴蒔婦夫殿「危機時代の選択」一冊
 74 町田是正殿「身延山秘話外史」三冊
 75 笹川平和財団殿「コーポレート・シチズンシップ」一冊
 76 字部短期大学殿「字部短期大学三十年の歩み」一冊
 77 長谷川寛清殿「法華経音義」五冊
 78 山下清一殿「法華経大講座 第1巻」他一百二冊
 79 坂本 静 殿「梵文法華経写本集成 第1巻」他三千二百八十七点
 80 山梨県民生活局環境衛生課殿「やまなしの環境」一冊
 81 山梨日日新聞社殿「山日YBS席書き 第五十回大会記念誌」
 82 日本図書館協会殿「マネジメントと直感」一冊
 83 藤井教正殿「飯高檀林資料 檀林録 上・下」他三冊
 84 公務員試験協会殿「公務員試験合格科目別シリーズ 1」他三冊
 85 師親会殿「国訳大藏經 第1巻」他一百冊
 86 山喜房仏書林殿「本覚思想論」他六十冊
 (自平成二年二月一日〜至平成三年一月三十一日 掲載順不同) 以上

◇図書館だより ―その二―

「一人一冊献本運動」に呼応下さりました方々の中で、年度毎に三十万円相当以上の献本者の方には、その功績に感謝し表彰を行っております。平成二年度の功労者は次の方々でありますので御報告申し上げます。

- 1、谷川寛俊殿 富山県
- 2、山下清一殿 函館市
- 3、坂本 静殿 東京都

今後共、広く皆様方の「一人一冊献本運動」の御協力を切にお願い申し上げます。本学園図書館には、一般教養関係等の本が少くないので、仏教書以外の本も多いに歓迎しております。同じ本が数冊あっても、結構に存じますし、こんな本では必要なかろうという場合でも献本賜われますれば幸甚に存じます。

図書館では、同窓生諸兄、有縁関係者、図書館建設資金御寄付者、献本御協力者、研究者等の利用の便を計るために閲覧証(一年間有効)を一階のカウンターにて用意しておりますので御来館の際には館員にどうかお母ね下さい。

◇図書館だより ―その三―

坂本文庫、第二回目の御寄贈を平成二年八月二十二日に坂本静様より賜われました。館員の池上要贈先生と点検した結果、次の様な内容となっております。①ノート類二九三冊。②雑誌

一二一五冊。③書籍六六二冊。④新聞六一。⑤その他(資料コピー・写真・原稿・抜刷・色紙・パンフレット・その他)九
九四。⑥軸物三〇幅。⑦書画等三二点。合計、三二八七点
に及んでおります。前回の和書・洋装本・洋書・雑誌等の約一万
冊を合せますと、かなりの数になります。いづれ目録を完成さ
せ利用の便を計りたく存じております。現在、洋装本の二八五
二冊と洋書一六一冊の作業が完了し閲覧可能です。最重要の作
業は和本四九三五冊の修理(裏打)、帙の製作に追われて、完
了には数年を要しそうでありますが、コツコツと進んで参りま
すので宜敷くお願い申し上げます。(桑名眞正)

研究活動報告

(1) 日本印度学仏教学会

第四十一回学術大会は、平成二年六月二十三日(土)、二十
四日(日)の両日にわたり、当番校東北大学(仙台市)の主催
で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

原始仏教における *kāya* について 池上 要 靖
Atśa の *Prajāhṛdaya-vyākhyā* 望月 海 慧

(2) 日本宗教学会

日本宗教学会第四十九回学術大会は、九月二十八日(金)三
十日(日)にかけて、大谷大学(京都市)において開催され
た。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

宗教と教育——仏教における教育思想—— 渡 辺 寛 勝

(3) 日本仏教学会

平成二年度学術大会は「仏教と女性」を共同研究課題として
十月六日(土)、七日(日)の両日にわたり、花園大学(京都
市)を会場にして開催された。本学からの発表者とテーマは次
の通りである。

日蓮聖人の女性観 桑 名 眞 正

(4) 日蓮宗教学研究発表大会

第四十三回日蓮宗教学研究発表大会は、日蓮宗宗務院講堂を
会場にして開催された。本学からの発表者とテーマは次の通り
である。

宗祖の唱題観 上 田 本 昌

五百対二百五十一のジョーヤナの塔 高 橋 堯 昭

武田・穴山両氏の対身延山政策 町 田 是 正

金綱集の検討 中 條 暁 秀

Vimalamitra の *Prajāpāramitāhṛdayaika* 望 月 海 慧

(5) 仏教文化講座

本年度の「仏教文化講座」(公開)は、一月二十六日(午前
九時—十時三十分)開催された。講師は中央大学名誉教授であ
る佐藤智雄先生、テーマは「信仰と信念について——日蓮聖人を

中心として」であった。

(6) 学内研究会

本年度の学内研究会の発表者とテーマは次の通りである。

◇六月二十八日(木)午後三時

カマラシーラの般若心経注釈について

望月海慧

◇九月二十七日(木)午後三時

日蓮聖人の女性観

桑名貫正

◇一月十七日(木)午後三時

数珠考

一宮嘉孝

平成二年度 卒業論文一覧

唱題成仏について考察する

田中文耀

行学院日朝上人―身延における業績について―

飯盛治雄

日蓮聖人の身延山での御生活

麻生文雄

日像上人の研究―帝都弘通について―

内山裕明

日蓮聖人の末法救済観

岡田亮修

日蓮宗における守護神の一考察―特に鬼子母神信仰について―

金安英世

日蓮聖人の上行自覚

川本義昭

法華経・日蓮聖人の「信」について

橋内秀徳

日蓮聖人の法難について―龍口法難を中心として―

『立正安国論』の一考察―自界叛逆難・他国役遍難について―

佐々木寛明

日蓮聖人の国家論

鈴木智之

天台止観における覚知魔事について―『天台小止観』第八章を中心として―

高橋忍静

末法総鎮守七面大神についての研究

戸田秀明

久遠成院日親上人について―『立正治国論』を中心として―

豊田通則

日什門流の成立と展開

根師哲郎

西谷檀林の研究―紅衣騒動を中心として―

畑哲郎

上総七里法華について

水野泰経

日像上人の帝都弘通の経緯と軌跡について

三橋潮倅

日蓮聖人の衆生への教化についての一考察

三好能瑞

富士門流興門派と日向定善寺日親上人について―日興上人滅後の富士門流の展開と分裂―

山本みどり

日蓮聖人の「師」の自覚について

吉田静正

◇同窓会本部だより◇

松村文潮

身延山短期大学学園同窓会役員会の開催

松村文潮

平成二年度、同窓会役員会が平成二年十月三十日(火)、身延山短期大学学園を会場として左記の式次第にて成会裡に行われました。

松村文潮

平成二年度、同窓会役員会が平成二年十月三十日(火)、身延山短期大学学園を会場として左記の式次第にて成会裡に行われました。

松村文潮

平成二年度、同窓会役員会が平成二年十月三十日(火)、身延山短期大学学園を会場として左記の式次第にて成会裡に行われました。

松村文潮

平成二年度、同窓会役員会が平成二年十月三十日(火)、身延山短期大学学園を会場として左記の式次第にて成会裡に行われました。

松村文潮

司会 桑名貫正先生

- (1)開会の辞、(2)玄題三唱(大石要英副会長)、(3)会長挨拶(小崎龍雄副会長)、(4)理事長挨拶(副総務小川原潮栄庶務部長)
 - (5)宮崎英修学長挨拶、(6)議事、(7)議長選出、小崎龍雄同窓会副会長が選出される。(a)本部庶務・会計報告(望月海英先生)、(イ)支部報告(各支部長より現況報告がなされた)、(ニ)その他。
 - (7)玄題三唱(中村正彦副会長)、(8)閉会の辞。
- 尚、当日の議事内容は、次の様な事が討議なされましたので御報告申し上げます。

役員会議事録

〔決定事項〕

- 1、表彰規定………三〇万円以上の寄付者。
- 2、同窓会会費納入に尽力。各支部長さんにお願ひして、各県(所屬)の実際上の会員を把握して、新たな会員名簿の再確認ができたものを本部に送付。

〔確認事項〕

- 1、身延山学園同窓会役員・支部長会議は毎年開催。
- 2、身延山学園同窓会総会は三年毎に開催。

〔要望事項〕

- 1、身延山短期大学三カ年を卒業した者の僧階は大講師などで、卒業後一カ年間の特別教育機関をつくり何らかの研修を行い、檀僧都を取得できるように僧階のみの恩典を計って欲しい。

2、同窓会名簿の訂正。

3、同窓大会総会後に同窓会の懇親会を行って欲しい。

4、同窓会支部会費(同窓会本部会則第7条、会員一人、年会費一〇〇〇円を同窓会本部へ納む)を本部の方から督促して欲しい。

(文責 桑名貫正)

以上